

【シームレスシース型 白金測温抵抗体】

シームレスシースの内部は、ニッケル線とMgO(酸化マグネシウム)が機械的に強固に充填され、感温部には、白金抵抗素子を【精巧】な技術により内蔵し封入されています。シームレスシース型白金測温抵抗体は強固に充填されたMgOにより丈夫であり、耐久性に優れているばかりでなく、用途に応じて曲げ加工が可能です。

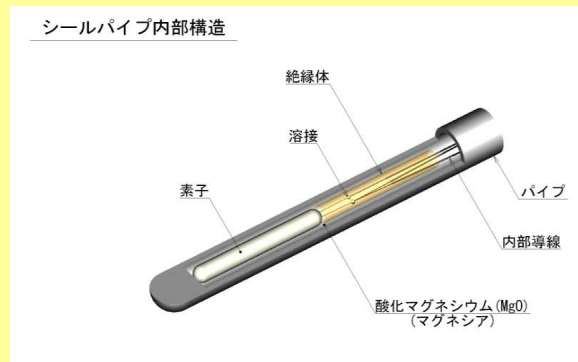


【特徴】

- ・-200℃～500℃と広範囲で使える
- ・設置する現場で、容易に曲げて使える(外径の3倍以上)
(但し、先端から70mm以内は曲げられない)
- ・機械的な強度、振動の場所で使用できる
- ・最少シース外径は、φ1.0mmから製作可能

【シールパイプ型 白金測温抵抗体】

従来は、マイカ巻型素子が主流でパイプの中に絶縁管を使用して製作されていたため、保護管が太くて大きいものが主でした。当社は、素子の超小型化に成功し、保護管をφ0.5～各種製作可能になりました。



【特徴】

- ・極細管は、熱容量が少なく微小な温度変化に追従します
- ・最少外径は、φ0.5mmから製作可能
- ・長さは、7mmから製作可能(先端開放)
- ・耐振動型の構造で製作可能(相談要す)